

創立73周年
令和5年度2月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



繋がりの中で育てる

園長 北村 恵

先日のファミリーデーにおいて、「大園男(おおえんだん)」結成20周年のお祝いと大正まつり(バザー)の還元による、しゃぼん玉ショーが行われました。その日は、午後に台東区立幼稚園PTA連合会の50周年式典及び、歌のお姉さんの神崎ゆう子さんによるコンサートも行われたため、家族みんなで楽しい時間を過ごす一日となりました。

大園男20周年のお祝いには、創設者の茂木悟様と同窓会長の今井昇様が参列され、お祝いの言葉をいただきました。以前は「父親の会」と呼ばれていたものが、20年前にその当時のお父さんたちの発案で、大園男という素敵な名前になったことや、そのことでさらにお父さん同士の繋がりが深まったことなどを教えていただきました。20年間、その時々のお父様たちが子供たちのためにご尽力され、大事に繋いでいただいたことで、今の大正幼稚園があることを改めて実感いたしました。

その後の、バブリン先生によるしゃぼん玉ショーでは、大小様々なたくさんのしゃぼん玉が体育館の中を舞い、まるで夢の世界のようでした。その中を子供たちが嬉しそうに飛び跳ねている姿を、ニコニコと見守っているお父さんやお母さん達の笑顔が印象的でした。最後に、子供たちが一人ずつシャボン玉の中に入り、アイドルのようにたくさんの保護者の前でポーズを決めて、記念撮影もできました。大正まつりに保護者の皆さんが協力してくださったお陰で、子供たちにとって、忘れられない心に残るイベントを開くことができました。ありがとうございました。

幼稚園では、今年度も本物体験や家庭・地域との連携を大切にして教育保育を行ってきました。1月に4歳児の親子が参加した「昔のお正月遊びを楽しむ会」も、内容は少しずつ変わりましたが、30年前からずっと、地域の方が参加してくださっている行事です。

73年の大正幼稚園の歴史の中で子供たちのために力を尽くしていらしていた先生方や、保護者の方、地域の方を「縦の糸」と捉えると、現在の教職員・保護者・地域の方が繋いでいるのは「横の糸」となるのでしょうか。そんな縦の糸と横の糸が織りなす温かな布にくるまれて、園児たちはたくさんの豊かな体験をし、伸び伸びと自己発揮しながら、その子らしく成長していることを感じます。

5歳児はもうすぐ小学生です。この子供たちがさらに大きく成長できるように、この糸を小学校へと太くつなげてきたいと思います。